

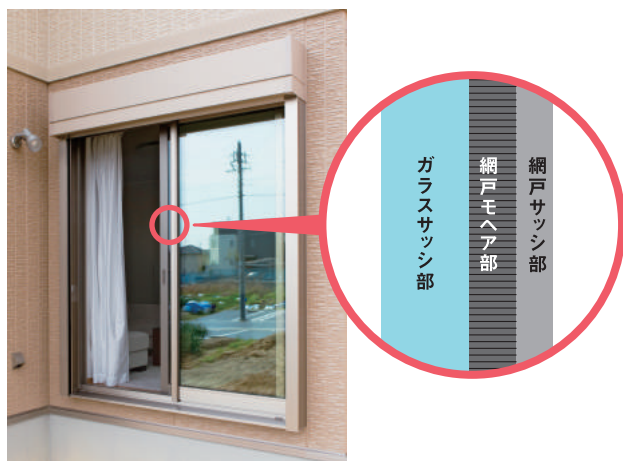
② 網戸の調整方法

【用意するもの】／ 手袋、プラスドライバー

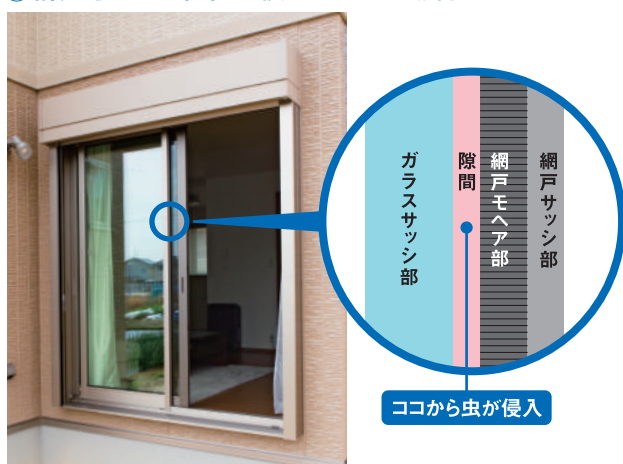
網戸は正しい位置で使いましょう

網戸は正しく使用しないと、虫などが室内に入る原因となります。網戸とガラスサッシが正しい位置にある場合は、図①のようにガラスサッシ部と網戸モヘア部が密着し隙間ができません。図②のような位置にある場合、ガラスサッシ部と網戸モヘア部の間に隙間ができてしまい、この隙間から虫などが室内に入ってきます。

① 網戸を正しい位置で使っている場合



② 網戸を正しい位置で使っていない場合



注意事項 (洗面・浴室)

「ケミカルクラック」にご注意ください

洗面台やお風呂場の収納棚は、樹脂製が主流です。樹脂の種類や成型法にもよりますが、一部のクレンジングフォームや除光液が樹脂部に液だれ等で長時間付着したままの状態ですと、化学変化を起こしてひび割れが起こる場合があります。その現象をケミカルクラックと呼びます。化粧品が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。また、化粧品はトレイに入れて収納することをおすすめします。



網戸の取りはずし方

- ① 網戸左右両側の縦枠上部 (写真左) には、網戸に力が加わってもはずれないように落下防止のはずれ止め (写真右) が付いています。



- ② 網戸をはずす場合は、プラスドライバーではずれ止めのネジをゆるめ (写真左)、両側のはずれ止めを下へずらします (写真右)。



- ③ 網戸を上にし少し持ち上げながら戸車を網戸レールからはずします。網戸の下部を室外側に持ち出すようにしてはずしましょう。



- ④ 取付ける場合は、網戸の上部から入れて戸車から網戸レールに戻します。網戸両側の戸車とはずれ止めを元通りにします。はずれ止めは網戸を取付ただけでもバネがかかりますが、強風や開閉によってはずれるおそれがあるので、必ずはずれ止めのネジは締めておいてください。

網戸の傾きを直す

- ① 網戸を閉めたときに、網戸が枠にあらず隙間ができる場合は、網戸が傾いている状態になっています。建付け調整をして傾きを直しましょう。



- ② 網戸両側の縦枠下部にある戸車調整孔にプラスドライバーを差し込みます (写真左)。調整はドライバーを時計回りに回すと網戸が上がり、反時計回りに回すと網戸が下がります (写真右)。